



2019年6月号 掲載



子育て支援室の「わくわく子育て」



「子どものまわりは危険がいっぱい」

小さい子どもの行動は予測がつかないので、ヒヤリとすることが多いですね。

好奇心いっぱいの子供は、自分で動いて確かめることで好奇心を満ち、
どんなことが危ないのかを体で覚えていきます。

ですので、子どもに対してはなんでも「ダメダメ」ではなく、
子どもの自主性を大事にしながらも、
周りの大人が常に目を離さないようにしてあげてほしいと思います。
室内で静かに遊んでるな～と思っても、こまめに確認や見守りは必要ですよ。

子どもが自ら動いて危険に直面してしまう以外にも、
何気ない日常の行動の中で大人が子どもを危険にさらしてしまうこともあります。
普段なにげなくやっていることにも大きな危険が潜んでいます。

例えば・・・

- ・子どもを自転車に乗せたままその場を離れる！
(結構よく見かけます。何かの拍子に倒れたら大怪我につながります。)
- ・歯ブラシ(お箸)をくわえたまま歩く！
(転んで、のどにささるという事故が多いです。)
- ・靴下をはいたまま室内を走る！
(床はすべりやすいので、転んで頭を打ったり怪我をします。)
- ・リュックサックを背負ったまま遊具で遊ぶ！
(首にからまると窒息し、非常に危険です。フードや水筒のひもも危ないですよ。)



他にもいろいろありますが、とにかく常に危険が潜んでいると意識することが一番ですよ。
危険なことの多くは大人が気をつけることで防ぐことができます。



大人みんなで、子どもを危険なことから守っていきましょう！

☺子育てに関するご相談は、お気軽に子育て支援室をご利用ください☺

保健福祉課 窓口③番 ☎6682-9878・9880 (子育て支援室)

